

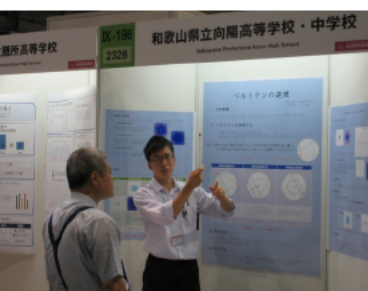
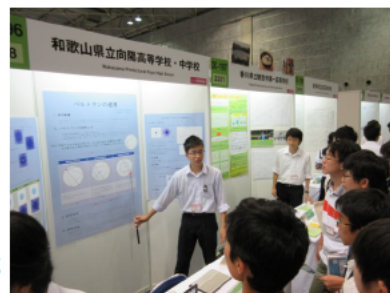
向陽 SSH NEWS 第7号



編集：向陽高校SSH事務局

平成27年度 全国SSH生徒研究発表会に参加 ポスターセッション発表「ベルトランの逆理」

8月5～6日にインテックス大阪にて平成27年度SSH生徒研究発表会が行われました。本校からは、昨年度にSS探究科学Ⅱ（課題研究：数学ゼミ）で取り組んだ研究「ベルトランの逆理」のポスター発表を行いました。研究発表内容は、「円に『無作為』に弦を引いたとき、その円に内接する正三角形の辺よりも引いた弦の長さが大きくなる確率が弦の選び方によって、 $1/3$ 、



$1/2$ 、 $1/4$ と三つ求まるというパラドックス」

について、パソコンでの情報処理も活用しながら考察を含めていく研究でした。ポスターブ

ースでの研究発表中は、多数の他校生徒、教員の方々が本発表に熱心に耳を傾

け、質問だけでなく、アドバイスもかけてくださいました。アピールタイムにも積極的に参加し、プレゼンブースにおいて口頭

発表も行いました。そのほか、東京理科大学学長である藤島昭先生の講演「研究は楽しい!!先人の科学者に学びつつ、身の回りの現象をヒントに新しい化学を作っていこう。」があり、藤島先生の取り

組まれている光触媒の研究の話や研究と向き合うための大切なことなど貴重なお話を聞くことができました。

2日目には、2年生、1年生も会場に足を運び、たくさんのポスター発表を見学しました。後輩達にとっては、今後の課題研究の参考になったようです。海外からも招聘校の参加があり、英語でポスター発表等が行われました。参加した生徒たちはたくさんのブースをまわり、他校の生徒達と交流を深めました。



アピールタイムでのプレゼン風景

環境科学科1年生

環境論文ポスターセッション 向陽中学3年生



9月4日(金)4・5限、武道場において、環境科学科1年生が向陽中学3年生に対して、環境論文のポスターセッションを行いました。

環境論文は、中学3年時に卒業論文として完成させた環境を題材とした論文です。今回、その内容を1枚のポスターにまとめ、これから環境論文に取り組む中学3年生に対してポスターセッションを行いました。

環境論文は、一人が一つのテーマで研究し、テーマは「里山を守るために僕らができること」「エコカーが未来を救う!?!」「燃料電池について～燃料電池車はどれだけCO₂を削減できるか」「水の汚染による生態系への影響と改善方法」「南海トラフ大地震に備える。」「ミツバチ現象による農作物への影響を防ぐための対策」「持続可能な社会に自動販売機は必要か。」など



様々な分野にわたっています。高校生一人が中学生一人を対象に自分が作成した環境論文について説明していききました。高校生の一生懸命に説明する姿と中学生の真剣に学ぼうという姿勢が見られ、生徒同士での中高連携の深まりを感じられるポスターセッションとなりました。

